

都幾川中学校 第1学年「社会科」シラバス

社会科の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかむ。
- 2 広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解すること。
- 3 地理的な見方を身につけ、我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や地理、具体的な歴史遺産などを通して、興味・関心を高め主体的に取り組む。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートを取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。(観点別評価)
- 地理的分野・歴史的分野の事象との関連を常に意識した授業の工夫を図る。

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○地理の学習 ○世界のすがた ○日本のすがた ○世界各地の人々の生活と環境 ○歴史のとらえ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々の特色について ・さまざまな地図をもとに、長所と活用方法を理解する。 ・地球儀と地図の違い、経度、緯度などの基本的な事項を理解する。 ・世界の地域区分と国の形や国名の由来から国を理解する。 ・日本の国土の位置をさまざまな方法で示す。また、周辺の国との関連を領土問題を含んで考える。 ・人々の生活と環境との関わりや、さまざまな条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解するとともに、異なる文化や宗教等もとらえる。 ・歴史の大きな流れをつかむ。 ・年代、時代区分など歴史的事項を理解する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の古代文明と日本列島の誕生 ○古代国家の歩みと東アジア世界 ○世界の諸地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代文明のおこりや日本列島における人々の生活の開始、古代国家の形成と発展のあらましを東アジア世界との関連で理解する。 ・聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の変遷を理解する。大陸文化の影響を受け、仏教色豊かな文化が生まれていったことを理解する。律令国家のしくみが整えられ、その後天皇・貴族の政治が展開されるようになる流れを理解する。 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各地域の特色と他地域とのつながりを多角的に考察する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○武士の政権の成立 ○ユーラシアの動きと武士の政治の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士が台頭し武家政権へつながる過程を理解する。また、武家社会が発展する中で、幕府と朝廷との関係、封建制度の変化などから多面的に考察する。

都幾川中学校 第2学年「社会科」シラバス

社会科の目標

- 1 日本の歴史を中心に、その大きな流れと各時代の特色をつかむ。
- 2 広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解すること。
- 3 地理的な見方を身につけ、我が国と諸外国の歴史や文化との関わりを考え、国際協調の精神を養う。
- 4 身近な地域の歴史や地理、具体的な歴史遺産などを通して、興味・関心を高め主体的に取り組む。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートを取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。(観点別評価)
- 地理的分野・歴史的分野の事象との関連を常に意識した授業の工夫を図る。

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ○江戸幕府の成立と対外政策 ○産業の発達と幕府政治の動き ○地域調査の手法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航の背景を新航路の開拓を中心に考え、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を理解する。 ・江戸幕府成立の経緯と政治制度のあらましと幕府による統制制度・身分制度・産業の発達と政治改革について理解する。 ・身近な地域の自然や人口、産業、交通などについて調べる方法や地形図の読み取り方を身につける。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地域的特色と地域区分 ○日本の諸地域 ○地域の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色を他の事象と関連づけて理解する。 ・世界的視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を多角的に捉える。 ・九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方の各地域の特色と他地域とのつながりを多角的に考察する。 ・身近な地域にはどのような課題があるのかを考察し、その解決策をまとめ、地域の将来像を提案する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○開国と近代日本の歩み 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代社会に大きな影響を与えた欧米諸国の近代革命及び産業革命による社会情勢の変化について理解する。また、列強のアジア進出による江戸幕府への影響を捉え、開国から幕府滅亡に至る経過を理解する。 ・明治新政府の諸改革の特色を考える。明治維新によって人々の生活が大きく変化したことや近代国家への歩みを進めたことを理解する。海外への進出の流れも理解する。

都幾川中学校 第3学年「社会科」シラバス

社会科の目標

- 1 個人の尊厳と人権尊重の意義を広い視野から考え理解するとともに民主主義に関する理解を深め、国民権を担う公民として必要な資質を養う。
- 2 歴史や現代の民主政治、経済活動等についての理解を深め、社会の諸問題に関し自ら考えようとする態度を育てる。
- 3 世界平和の実現と人類の福祉の増大のため、各国が相互に主権を尊重し、協力し合うが大切であることを理解する。
- 4 歴史や現代社会に関する関心を高め、適切な資料選択・収集を通し、情報等を公正に判断し、適切に表現する。

評価の観点

- 1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
- 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。

評価の方法及び特色ある学習方法

- 授業中の態度・取り組み、発言発表等。
- ノートを取り方、プリント、ワーク等の内容・提出状況。
- まとめ、中間、期末テストや小テストなどの達成状況。(観点別評価)
- 地理的分野・歴史的分野・公民的分野の事象との関連を常に意識した授業の工夫を図る。

	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	○二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因や概要についてや、帝国主義の背景等についても理解する。 ・大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して大正時代の様子について理解する。 ・世界恐慌の原因と経過、各国の対応を通して日本の大陸進出や軍国主義化の経緯を理解する。 ・第二次世界大戦の原因や概要について理解する。 ・戦後の民主化と再建、国際社会への復帰、冷戦、高度経済成長を経て現在の日本の実情について多面的に理解する。 ・社会と国民生活の変化を捉え現代社会の特色や課題について多面的・多角的に理解する。
	○現代社会と私たち	
2 学 期	○個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原理を社会の形成者の立場から捉え、個人の尊厳と本質的平等・自由と権利、義務等について理解する。
	○現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや政党の役割、議会制民主主義について理解する。
	○私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が人間生活の維持向上のために欠かせないことを理解し、市場経済の特色・企業の役割と責任についても考える。
3 学 期	○地球社会とわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会が抱える諸問題について関心を高め、様々な資料を適切に収集・選択し多面的多角的に考察する。また、国際社会における日本の役割やあり方について考える。
	○より良い社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし意欲的に探求しながら自分たちにも何ができるか考える。
	○地理・歴史の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野及び歴史的分野について復習を行い、ポイントをおさえる。